

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・3か月前に比べ、県外のゴルフ客が増加している。
	やや良く なっている	百貨店（担当者）	販売量の動き	・初商い、冬物セールスタート時からの寒さにより、先月に比べ好調な月となっている。前年と比較して天候は安定しており、気温も前年比マイナス5度前後と例年並みの推移となったことから、防寒衣料を中心に主力の婦人服やこれまで苦戦傾向の紳士服、子供服も好調で、前年同月比で6～9%売上が上昇している。また、比較的単価の高い商品が動いたことから客単価も上昇している。食料品においても鍋素材を中心に好調で、近隣の大型量販店に押され苦戦傾向にあった生鮮の売上が前年同月比で2～4%の上昇となっている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・販売状況が良く、前年を100%強上回る動きとなっている。依然として客単価は低いが、来客数の伸びでカバーできているため、景気はやや良いと感じる。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・年末年始に需要が伸び、来客数の動きが多くなっている。
	変わらない	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・競合店が多く、販売量が減少しているが、客単価が微増しているため、売上高は変わっていない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月、販売量など特別変わった変動はない。
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・例年に比べ、販売量、金額の落ち込みが顕著であり、デフレは一向に改善されていない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前の10月は前年同月比で98.3%、1月は25日現在で98.3%と全く同じ状況となっている。来客者は団体客を中心にカップル、家族連れが多くなっている。
	やや悪く なっている	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数の増加で何とか売上がカバーしているが、客単価が前年比で3ポイント減少している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・1人当たりの購買単価が下がってきている。来客数は現状維持で推移していることから、必要なものしか買わないという客の意識が再び強まっている。
その他専門店 [楽器]（経営者）		販売量の動き	・売上が年末年始に関係なく、厳しい状況である。	
その他飲食 [居酒屋]（経営者）		来客数の動き	・例年1月は、中旬まで新年会等で来客数が増加するが、今年は10日以降から急激な落ち込みとなっている。	
観光型ホテル（商品企画担当）		販売量の動き	・2月、3月についての1月末時点の予約状況は、個人はほぼ前年並みに近い動きであるものの、団体客は前年の8割程度となっており、団体客の受注量が少なくなっている。	
観光型ホテル（営業担当）		単価の動き	・売上維持のため、客室単価の安い客も取り込んでいる。	
住宅販売会社（経営者）		競争相手の様子	・国や県、市町村の公共工事に対する予算も厳しくなっており、競争相手の倒産が相次いでいることから、厳しい状況にある。	
住宅販売会社（従業員）		お客様の様子	・展示場の新年オープン時の来客数は昨年の半分にとどまり、昨年末に引き続き、展示場、完成見学会等への来客者が減少傾向にある。	
悪く なっている		一般小売店 [衣料品・雑貨]（経営者）	来客数の動き	・例年以上に売上が伸びず、新規商品や期間限定商品などを企画して売上向上を図ったが、来客数が予想以上に下回り、店舗全体的に目標を達成できていない。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加している。
	変わらない	通信業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・企業のホームページ作成は、一定のセキュリティ対策や信頼性を考慮しなければならないが、この部分にかかる費用は大きく、客に提示できる料金を下げることは難しい。顔が見える客であれば理解も得やすいが、ネット上だけの客の場合、料金だけで動く傾向があり、厳しい状況である。

		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・予算減少が要因となって、取引先からサービス内容は変えずに料金を値引きして欲しいとの交渉が変わらず続いている。
		不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・買いの問い合わせが横ばい状態である。
	やや悪くなっている	輸送業（営業担当）	競争相手の様子	・郵便局が10月から料金改定やサービス拡大を行っていることから、個人客の減少が進行しつつあるように感じる。
		不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・道路拡張のための立ち退きをされる方々の転移先がほぼ決まり、賃貸部門の契約が減少している。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数が2、3か月前に比べて増加しており、また、1件当たりの人数も多くなっている。ただ、良くなっているとはいいつつも単価は上がっておらず、入札によっては非常に低い単価も出てきていることから、動きとしては良くなっているが、実状として、厳しい部分があるのも事実である。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・県内の求人件数は微増だが、特に季節工などの県外求人数の増加が著しい。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・県外企業の採用活動は翌年までは持ち越さないものが通例であるが、今年は、2次や3次募集まで実施する企業が増えている。聞くところによると人材がかなり不足している業界もあるとのことである。
	変わらない	求人情報誌製作会社（営業担当）	求職者数の動き	・例年は企業の求人に対して求職者数の反響が良くないとの苦情の声が多かったが、今年は周辺の企業から反響が良いとの喜びの声が引き続き多く聞かれる。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・全体的に雇用状況は好転しつつあるが、雇用形態の多様化や既卒者優先傾向などから、新卒雇用に直結しないケースが多く、新卒者内定率は昨年より低い状況が続いている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人数の動きをみると、新規求人は3か月前比16.3%の減少となっており、雇用形態等でみると一般求人は構成比86.6%で、同12.1%の減少となっている。また、パート求人は構成比13.4%で同35.8%の減少となっている。有効求人倍率は0.58倍で、3か月前比で0.1ポイント上昇しているが、反面、就職件数は同16.2%減少している。
	悪くなっている	-	-	-